

クロム活用家庭学習実践報告（1学期）

○低学年

○家庭学習の内容詳細（ICT 活用の場面）

ドリルパーク課題ドリルの活用（算数）

○ICT 活用のポイント

間違えた問題を何度も何度もくり返し取り組むことができる。

○中学年

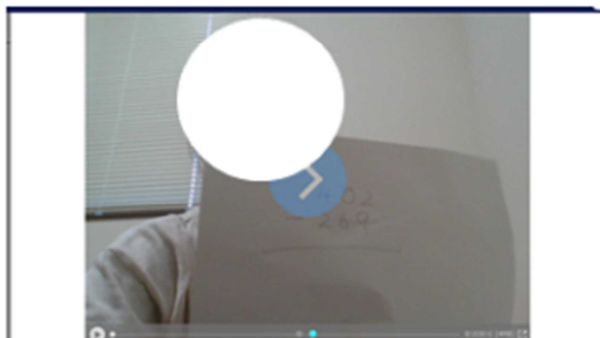
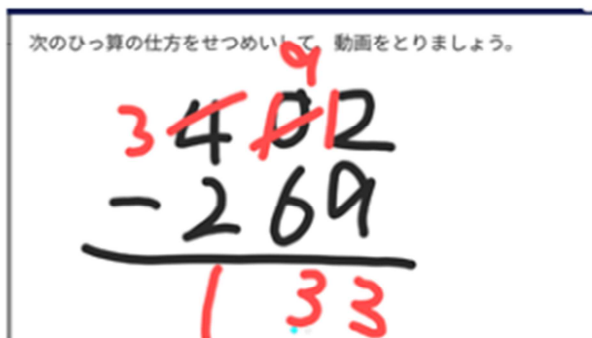
○家庭学習の内容詳細（ICT 活用の場面）

算数の単元「たし算とひき算の筆算」の家庭学習として、オクリンクの動画で筆算の説明を撮った。

○ICT 活用のポイント

家庭でも動画を使って筆算の仕方を説明することで、計算の仕方を確実に説明できるようにする。
また、授業中に一人ひとりの説明を聞いて回るのは難しいが、動画を撮って送ることで、教師の見取りもすることができる。

○家庭学習（ICT 活用）の写真掲載



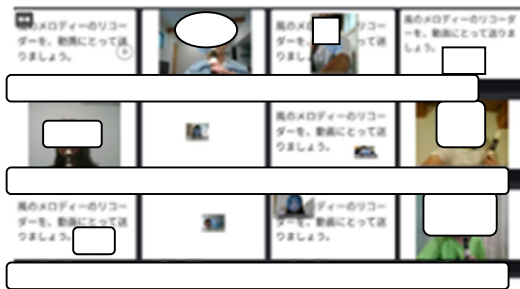
○家庭学習の内容詳細（ICT 活用の場面）

- ・ドリルパークで課題配信を行った。
- ・リコーダーの課題をオクリンクで提出した。

○ICT 活用のポイント

- ・漢字50問テストの練習を繰り返し取り組めるように、ドリルパークで行うことにした。
- ・リコーダーは繰り返し練習をして、上達した演奏を送ることで、評価につなげた。

○家庭学習（ICT 活用）の写真掲載



児童にとってのよさ
 児童自身が自分の演奏を客観的に聞くことができる。
 →一番初めと一番最後の自分の演奏を聞き比べて自分の成長を感じることができる。

○高学年

○家庭学習の内容詳細（ICT 活用の場面）

- ・国語の学習「見立てる 言葉の意味が分かること」の単元の導入で使うために、家庭学習ではドキュメントで語句調べを行った。

○ICT 活用のポイント

- ・教科書の文章を、児童自身がクロムブックで写真に撮ることで、一画面で見られるようにした。

見立てる（みたてる）	①見て、選り定める。判断する。②ある目的で、それを他のものと見る。なぞらえる。
行儀（こうぎ）	おこない。ふるまい。特に、しようという意思をもってする行い
想像（そうぞう）	実際に知識に与えられていない物事を心中に思い浮かべること
実在（じつざい）	①実際に存在すること。現実にあること。②仮字で、想像・幻覚ではなく、事実・事象として存在するもの。
特徴（とくちょう）	他と比べて特に目立ったり、他との区別に役立ったりする点。
不自然（ふしぜん）	自然ではないこと。わざとらしいこと。
言語（げんご）	一定のきまりに従い音声や、文字・記号を連ねて意味を表すもの。また、その総称。そういう一まとまりの(形式的な)体系。こゝは、言語で表現する行爲を示すこともある。
同僚（どうりょう）	主な点では、同じ様子・種類・しかたであるさま。
他にわからない語句	

児童にとってのよさ
 ・教科書を自分で写真に撮り、クロムブックで見られるようにすることで、情報がクロムブックだけに集まっており、学習がしやすくなる。
 たくさん調べたい児童も自分で進んで調べることができる。

○家庭学習の内容詳細（ICT 活用の場面）

- ①NHK for school の動画を視聴し、Google フォームで作成したテストに回答する。
- * 動画・・・社会科（歴史）で学習したことをまとめたもの（約 10 分）
- * Google フォーム・・・テスト機能とロックモードを活用して、自動採点するように設定済み
動画を観ていないと回答することができない"ドボン問題"を混ぜることで動画をしっかりと見るようになった。

○ICT 活用のポイント

- ・授業内では動画を視聴する時間を確保することが難しいが、家庭学習にすることによって楽しみながらも学習・復習することができる。また、興味があったり学習に余裕があったりする児童は他の動画を見て内容を深めることができる。
- ・予め回答と教科書のページ数を設定しておくことで、自動採点かつ見直しをすることができる。
自動採点のための回答設定には多少時間を要するが、朝の丸付けが軽減されるメリットもある。
- ・選択式だけでなく、記述や複数選択など問題形式を工夫することで、単調にならず、様々な形式に触れ合うことができる。
- ・テスト後に"振り返り"や"自己評価"（テストの点数には含めない）の項目も設け、個の単元で学習したことを振り返らさせる。（主体を見ることが出来るかも??）

2. (①) 時代、中国から (②) づくりが伝わり、指導者を中心にむらづくりが行われた。稲の穂を刈り取るために写真のような (③) を使うようになった。
(①) (②) (③) にあてはまる言葉の組み合わせとして正しいものを選びなさい。



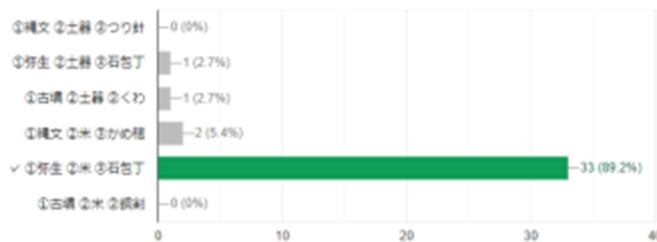
- ①縄文 ②土器 ③つり針
- ①弥生 ②土器 ③石包丁
- ①古墳 ②土器 ③くわ
- ①縄文 ②米 ③かめ種
- ①弥生 ②米 ③石包丁

- 採集した木の葉や貝などの食べ物を煮るため。
- 死んだ人の骨を入れ、土に埋めるため。
- 生活でたぐ足を捨てるため。
- 食べ物を煮えたり、石臼として使ったりするため。
- 儀式や祭りなどの慶事のときに使うため。

4. 縄文時代の人々は、食べた貝がらや動物の骨を捨てる場所を決めていました。その場所を () といいます。
() にあてはまる言葉を記入しなさい。

記述式テキスト（短文回答）

2. (①) 時代、中国から (②) づくりが伝わり、指導者を中心にむらづくりが行われた。稲の穂を刈り取るために写真のような (③) を使うようになった。
正解 33/37 件



☆クロム家庭学習の現状

- ・低・中学年は、ミライシードでドリルを出したり、音読や計算カード、リコーダーや鍵盤ハーモニカの練習などを動画に撮って送る宿題を出したりしていることが多い。くり返しドリルで練習をしたり、間違えた問題を自分で何度もやり直せることで定着につながる。また、楽器の動画を撮ることで、上手に弾けるように何度も練習するという意欲にもつながり、それで評価をとることもできる。
- ・高学年では、ドキュメントやフォームを使っている。ドキュメントは、国語で語句を調べたり、文章を書くことに使っていて、自分が調べた語句の意味が記録として残っていたり、すぐに打ち直せたりする。また、フォームでは、動画を視聴してテストをしている。授業ではなかなか確保できない動画視聴の時間を家庭学習でとることで、授業の復習にもなり、どれだけ理解できたかを見取することもできる。最後には振り返りや自己評価の欄を設けており、そこで主体の評価をとることもできる。また、自動採点にすることで、朝の丸付けの時間が短縮される。